



農業法人代表と高萩氏(右側)

概要

- ◆氏名・所在地
高萩 興 沖縄県沖縄市
- ◆就農年
(自営) 令和7年3月 ※雇用就農令和5年4月
- ◆経営規模
露地野菜(島らっきょう等) 0.21ha
- ◆従業員数
家族労働 1名
- ◆事業内容
島らっきょう栽培等に取り組む。

1 就農相談までの背景

高萩氏は神奈川県出身で、大学進学のために沖縄県へ移住した。卒業後は友人と共に野菜栽培で就農することを計画し、農地や資金、技術がない中で就農方法を探していた。インターネットで「沖縄県農業経営・就農支援センター(以下「支援センター」という。)」の存在を知り、友人と共に支援センターを訪れた。

2 相談内容

野菜栽培で就農するための具体的な手段や雇用就農先について教えてほしい。
また、雇用就農終了後に自営就農したいため、就農地の決定と農地確保について相談したい。

3 支援内容

●就農相談に対する助言等

技術習得の為に沖縄県立農業大学校短期野菜コースを紹介し入学を勧めた。卒業後は、雇用就農先としてハーブ栽培を行っている南城市の農業法人を紹介し、マッチングした。

●沖縄市農林水産課・農業委員会との連携

土地の用途が立ったため、市主催の「沖縄市農地の未来会議」に積極的に参加し、地域計画の農業を担う者に位置づけ予定となっている。また、市農業委員会や農地中間管理機構を介し借地契約を締結調整中である。



沖縄市農業委員会等との面談

●就農市町村の決定と農地確保

自営就農のきっかけとしてU市のレンタル農場(農業ハウス)を予定し、農業法人で技術研鑽してきたが、U市内では他に十分な面積が確保できず申込を辞退、隣市の沖縄市農業委員会に依頼し80aの農地を紹介してもらった。また、遊休農地11aも加えて確保することが出来た。

●中部農業改良普及センターとの連携

専属スタッフと共に訪問し、独立就農後の技術・経営支援と青年等就農計画認定申請のための計画書作成の助言を受けた。



中部農業改良普及センター職員との面談

今後の意気込み

大学卒業後、野菜栽培で友人と共に就農する計画でした。しかし縁故関係の無い土地で具体的な行動に迷っていました。専属スタッフの計画的なきめ細かい助言と支援により、どうにか自営就農の入り口に立つことが出来ました。これからも関係機関と連携を密にし、地域農業の担い手として強い意志と責任感を持って頑張っていきます。

専属スタッフ所感

今回の支援は最初の相談から就農に至るまで足かけ4年間の取組です。相談者は県外出身者のため、農地の確保を含め多くの課題がありましたが、友人と共に就農するという強い意欲と強固な意志を持っていました。技術習得のために1年間の農業大学校の研修と2年間の雇用就農を経ての自営就農者であり、受け入れ地域も担い手として期待しています。今後とも沖縄市や普及センター、JA、農地中間管理機構等と連携を密にして支援していきます。